



# 唐桑航海日誌 KARAKUWAMARU LOG BOOK

2013年2月・3月活動報告【vol.5】

発行：からくわ丸-Karakuwa Designers League 2013.4

## ルーキーズサミット大物ゲスト続々

### 2月 結城登美雄さん @中地区集会所

2月23日、地元のわかものがまちづくりについて考える場「からくわルーキーズサミット」にゲストとして、民俗研究家の結城登美雄さんを仙台よりお招きした。結城さんは「地元学」提唱者のひとり。東北の様々な町や村を歩き、各地でまちおこし事業を実践してきた方で、唐桑でも20年以上前にまちづくりに取り組んだ経験がある。唐桑では有名な「臨海劇場」そして「まちづくりカンパニー」の仕掛け人だ。サミットでは、かつての唐桑での取り組み、そして他地域での事例を数時間に渡って講演していただいた。

その後の交流会も盛況。今回は本吉町の大谷地区からも地元のわかものがサミットを見学しに来てくれた。

「人間が生きる心の問題を、これほど考える地域に初めて出会った」と唐桑を絶賛。土地の資源を活かした事業アイデアや地方や田舎がもつ強みを説く結城さん。



「(都市に比べて)カネ以外のものなら、ローカル(地方)の方が持つ。カネのものさしで判断するな。」からくわ丸の地元メンバーも改めて地域の資源や魅力に目を向ける機会となり、活動のモチベーションへとつながった。企画担当は吉田和典(広報チーム)。

### 3月 西尾雄志さん @唐桑御殿つなかん

3月16日には、日本財団学生ボランティアセンターのセンター長、西尾雄志さんをお招きして「わかものに伝えたいこと」というテーマで講義していただいた。西尾さんは早稲田大学でも教鞭を執っており、長年大学生によるボランティア活動のサポート、コーディネートを行っている。自身の活動経験も交えながら、ボランティア活動のポイントを分かりやすく紹介してもらった。西尾さんがメインで取り組んでいる「ワークキャンプ」の心得(次頁)やターゲットティング、発信、リーダーについて等々テーマは豊富。「リーダーには4つのタイプがある。カリスマ型、民主型、事務型、そして愛され型。このうちの2つ、つまりトップが理想。」「20代のうちに、5年で達成したい夢をもつこと。そのために団体内で作戦会議が必要。」「世の中、他人が動かしていると思うとつまらない。」「(世の中を)どうおもしろくするか。それが活動の醍醐味」とメンバーを鼓舞する西尾さん。過去のサミットの中で一番興味深かったと参加者からは大好評だった。企画担当は三浦伶(企画チーム)。



## まちづくり先進事例視察の旅

### 里の文化自然共有研究所 出川真也さん

事務局は1月31日、NPO法人里の文化自然共有研究所の専務理事兼事務局、出川真也さんのもと(長野県中野市)を訪れた。出川さんは山形県で地元学を実践していた経歴があり、そのノウハウ、成果、課題点などを伺った。また唐桑での活動にアドバイスもいただいた。2月1日には、まちおこしで有名な小布施町を散策。

結果、春から再開する「まち歩き」活動に改良点を加える。対象とする地区を細分化する、新たな成果物として冊子をつくる、など具体的な改善案7つを考案した(「信州七策」)。

### 地元学ネットワーク主宰 吉本哲郎さん

事務局と拓-hiraku-プロジェクトは2月16~18日、吉本哲郎さんのもと(熊本県水俣市)を訪れた。結城さんと並び「地元学」提唱者のひとりである。当団体が行う「まち歩き」活動も、1年以上前に吉本さんに「地元学」の教えを請うたところから端を発している。水俣地元学の成功事例(村丸ごと生活博物館になっている頭石(かぐめい)地区など)や水俣病資料館など見学。吉本さんら水俣の活動家たちと、活動について意見交換を重ねることができた。(写真右)



### ワークキャンプ五カ条(草案)

1. 自分の意志で行動しろ!
1. やったことを人に伝える!
1. 活動に関わる人すべてを、心地よく巻き込め
1. 身内で楽しいだけの活動でなく、背後にある社会問題を考えて!
1. キャンプのつながりに時効はねえぞ!

西尾氏配布資料より

## クッキングババ 唐桑を味わう第3回第4回開催



2月11日に保健福祉センター燦さん館で第3回クッキングババを開催。バレンタイン直前!...という訳で、唐桑で昔から食べられているお菓子をテーマにレシピをつくる。今回は、地元住民のお母さん4名、大学生など「よそも」9名に加え、からくわ丸メンバーなど地元若者が5名(うち高校生2名)参加。4チームに分かれて、「いものこ団子」、「ゆべし」、「かぼちゃまんじゅう」と「がんづき(がんづけ)」を調理した。さらになんと高校生の発案で「チョコレートがんづき」を試作!その後、同センター和室で、これらの料理に関するエピソードや昔の話を聞きながら、試食会を実施。(チョコがんづきは不評でした!)そこで得た情報をもとに、地元若者を中心にレシピづくりを行った。(写真上:蒸かし中のゆべしをかき混ぜる)

3月24日、お彼岸をテーマに第4回を開催。お彼岸のときによく食べる「ぼたもち」、新鮮なタコを使った「たこと豆腐の白和え」、今が旬!「しらすとわかめのお吸い物」「わかめサラダ」、冬にとれた甘い大根で「ふるふき大根」そしてタバコでよく食べる「いききもち」の6品。(タバコ/タバゴ...方言。畑仕事などの小休憩、一服のこと。)料理を教えてくれる先生は、からくわ夕市会のおばちゃんたちにお願した。家庭によってレシピは異なるし、人によってその料理にまつわるエピソードは様々。それを聞いて、次世代に残していくことがクッキングババの醍醐味だ。

3月24日、お彼岸をテーマに第4回を開催。お彼岸のときによく食べる「ぼたもち」、新鮮なタコを使った「たこと豆腐の白和え」、今が旬!「しらすとわかめのお吸い物」「わかめサラダ」、冬にとれた甘い大根で「ふるふき大根」そしてタバコでよく食べる「いききもち」の6品。(タバコ/タバゴ...方言。畑仕事などの小休憩、一服のこと。)料理を教えてくれる先生は、からくわ夕市会のおばちゃんたちにお願した。家庭によってレシピは異なるし、人によってその料理にまつわるエピソードは様々。それを聞いて、次世代に残していくことがクッキングババの醍醐味だ。



(つくり方だけでなく、思い出話もメモする!)

※手書きのレシピを是非ホームページでご覧ください。→「トップ」から「活動レポート」ページへ

## 唐桑中学校・小原木小学校でゲストティーチャー

2月12日、唐桑中学校にて代表(当時)の加藤が道徳の授業ゲストティーチャーとして1、2年生を対象に講義を行った。大学時代の海外での活動(ハンセン病回復村ワークキャンプ)紹介から、震災後の唐桑での活動(まち歩き)紹介まで。「出逢いの大切さ」と「地域の魅力の再認識」をテーマに50分間講話。その後、他団体のスタッフ協力のもと、2年生を対象にワークショップを開催。唐桑の将来・自分の将来を考えるワークショップで、最後に2年生全員による「将来の唐桑に向けて一言メッセージ」をビデオに収めた。



過去のまち歩きの成果物である絵地図に興味を示す子が多く、「一緒につくってみたい!」という感想があった。今後、中学生と協力してまち歩きを実施してみたい。後日、ワークショップの結果をまとめた冊子とDVDを生徒たちにフィードバックした。(写真上・右)



2月22日には、小原木小学校6年生(10名)を対象にゲストティーチャー



として講話、ワークショップを実施した。ふるさとについて考える総合学習の授業の一環。いくつかのグループに分かれ、子どもたちと小原木の魅力を探した。小原木小学校は生徒数が年々減少、合併の話も出ている。今こそ小原木地区(唐桑町の北半分)の子どもたちと一緒にふるさとについて考えたい。(写真左) 少子化が激化していくこれからの唐桑を担う子どもたちには、しっかりこの地に足をつけて、地域の魅力を守り育ててほしい。

(班ごとに話し合った結果を発表する↑)

## 春休み学び教室 広島大学の学生参加

3月26日から29日まで教育委員会主催の春休み学び教室が開かれた。今回は唐桑中学校と小原木中学校を会場とし、町内の3小学校、2中学校から希望児童・生徒が参加した。冬に引き続き、学び相談員・支援員として中内、岡崎、そして広島大学の学生6名が子どもたちの学習をサポートした。学習だけでなく、休み時間には一緒に遊んだり、大学生が大学生活のことなどを話したりと、児童・生徒、大学生とも有意義な時間を過ごせた。

## CoCの出前授業 小原木中

3月14日、Connection of the Children(CoC)の加藤さん・田澤さんを招き、小原木中学校で出前授業を実施していただいた。加藤さんと田澤さんは1年をかけて、ユーラシア大陸を自転車で行く。その道中で出会った子どもたちや日本の子どもたちに糸を結んでもらい、世界中の子どもたちを1本の糸でつないでいくというプロジェクトを行っている。その旅の話や現地を感じたことをお話していただき、最後に小原木中学校の生徒たちも糸を繋いだ。生徒たちからは「世界とつながっている実感が湧いた」との声があがった。

## 子どもワークショップ

3月5日、ホーム(拠点のプレハブ)にてからくわ丸メンバーでワークショップを開催した。テーマは「唐桑の子どもたちを対象にどんな活動ができるか」。25年度から地元メンバーが団体の運営主体になることを踏まえて実施。自然遊び、スポーツ、イベント企画など地元メンバーからアイデアがたくさん飛び出た。まずは、まち歩きなど既存の事業に子どもたちを巻き込んでいこう、という基本の方針も出す。地域の子も地域若者の交流機会はなかなかない。今後の動きに乞うご期待。企画担当は伊藤大知(広報チーム)。

## その他 活動進捗

### 2月

- ・からくわ市参加(毎週土曜)
- ・朝の交通整理
- ・気仙沼ケーブルテレビ K-NET 市民アナウンサー
- ・放課後教室 小原木中学校
- 7日 陸前高田コミュニティスペース「みんなの家」視察
- 10日 唐桑中学校還暦祝い虎舞出演@プラザホテル
- 10日 まちぽっと&i-clubによる高校生まちづくりワークショップ@南町 cadocco
- 17日 聞き書きプロジェクト同行
- 18日 小原木中学校 パソコン運び出しの手伝い
- 19日 環境省・復興エールズ推進モデル事業 地域説明会@唐桑公民館
- 22日 「観光戦略会議コミュニケーション部会」出席
- 23・24日 明日はえいがまつり実行委員会主催「明日はえいがまつり」運営お手伝い
- 26日 唐桑町観光協会主催「料理体験メニュー開発講座」参加

### 3月

- ・からくわ市参加(毎週土曜)
- ・朝の交通整理
- ・気仙沼ケーブルテレビ K-NET 市民アナウンサー
- ・放課後教室 小原木中学校
- 1-3日 NPO 法人底上げ主催「気仙沼みらい創造カレッジ」スタッフお手伝い
- 2日 唐桑御殿つなかにて JTB ツアー「大人の留学 in 気仙沼」の対応お手伝い
- 2-3日 気楽会主催「気仙沼ツアー活動報告会」
- 4日 ミニクッキングババ@馬場「いさきもち」
- 5日 まちぽっとによる高校生まちづくりワークショップ @本吉響高校
- 6日 ミニクッキングババ@津本「芋きんとん」
- 9・10日 からくわ丸拠点大掃除「ホームキャンプ」
- 9日 常駐メンバーお疲れ様会@漁火ごだい
- 10日 からくわ丸ルーキーズ×大沢青年会の交流会
- 15日 「観光戦略会議コミュニケーション部会」出席
- 17日 からくわ市会「彼岸市」
- 24日 聞き書きプロジェクト同行
- 27日 唐桑ボランティア団最後の定例会
- 31日 渡辺ら事務局4名の常駐期間終了



今年度は本当にお世話になりました。



当事業(平成24年度9月~2月)は公益社団法人 Civic Force と協力して実施しました。(NPO パートナー協働事業第4期)



来年度の事務局にはたくま、新たに山梨大学出身のまみが加わり、地元唐桑の若者中心に活動していきます。

くによしは東京学芸大学4年生、しょうこは広島大学4年生、えまは立教大学3年生に復学します。いつこは、宮城県内(多賀城)で就職します。唐桑での一年間の常駐を終えそれぞれの道へ進みますが、これからも唐桑へ関わっていきます!



からくわ丸はまだ進化します! 今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

からくわ丸の活動を応援してください。寄付(カンパ)募集中です。

よろしくお願ひ致します。

【お振込先】

ゆうちょ銀行 店番:818

科目:普通

口座番号:0045788

口座名義:カラクワ丸

カラクワデザイナーズリーグ